

1. 動機

アニメーションが好きで、アニメーション制作に触れてみたいと思ったから。
3年間共に過ごしたクラスメイトや、お世話になった先生方との思い出になるようなものを制作しようと思ったから。
授業では使用しなかったソフトを使用したいと思ったから。

2. 使用機器・使用ソフトウェア

(1) イラスト

ペンタブレット (Huion Tablet)
トレース台
アニメ用タップ普通型
動画用紙100枚



(2) 合成と加工

Adobe Photoshop CS6

(3) 動画制作

Adobe After Effects CS6



3. 作業日程

1 学期

- ・合成用写真（校舎や校内）を撮影
- ・参考用写真（人物写真）を撮影
- ・参考用写真を見ながら、人物をミニキャラクター化して紙に下書き
- ・ペンタブレットを使用し、**Photshop** で本描き

2 学期

- ・ペンタブレットを使用し、**Photshop** で本描き
- ・合成用写真を **Photshop** で加工
- ・合成用写真とイラストを **Photshop** で合成と加工する
- ・**After Effects** を使用し、動画づくり

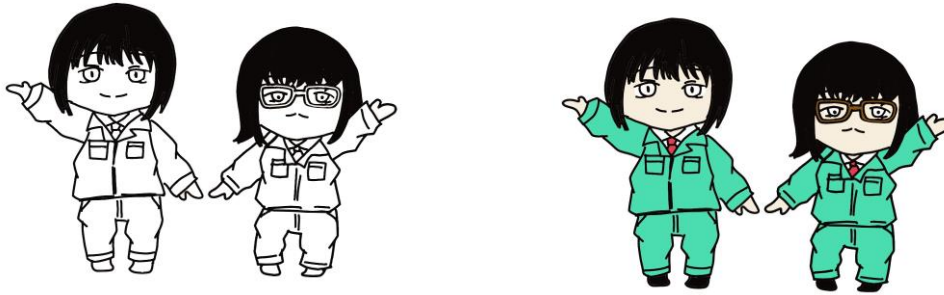
3 学期

- ・**After Effects** を使用し、動画づくり
- ・**word** で課題研究発表原稿を作成
- ・**Power Point** で発表用スライドを作成



4. 作業内容.

- (1) 合成用写真（校舎や校内）の撮影
- (2) 参考用写真（人物）の撮影
※人物の撮影をする際は本人の許可を得て撮影する
- (3) 参考用写真を見ながらミニキャラクター化して紙に下描きする
- (4) 下描きしたものをペンタブレットを使用し、Photoshop で本描き



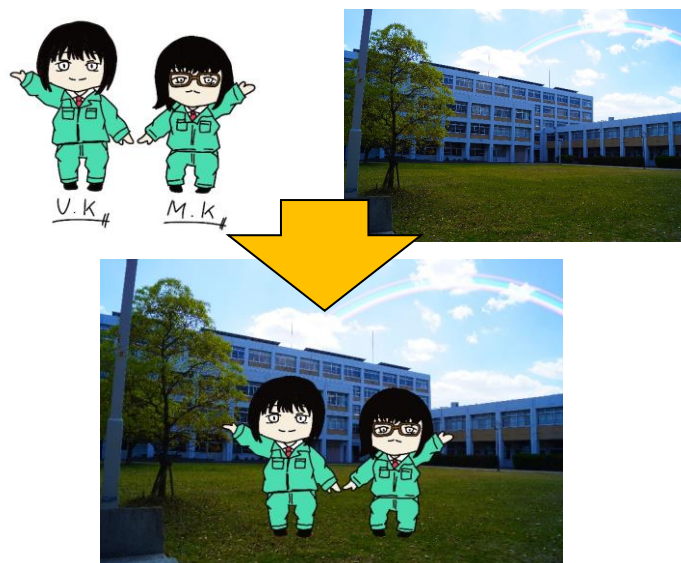
（教師×5，生徒×37）

- ① 合成用写真（校舎や校内）をphotoshop で加工

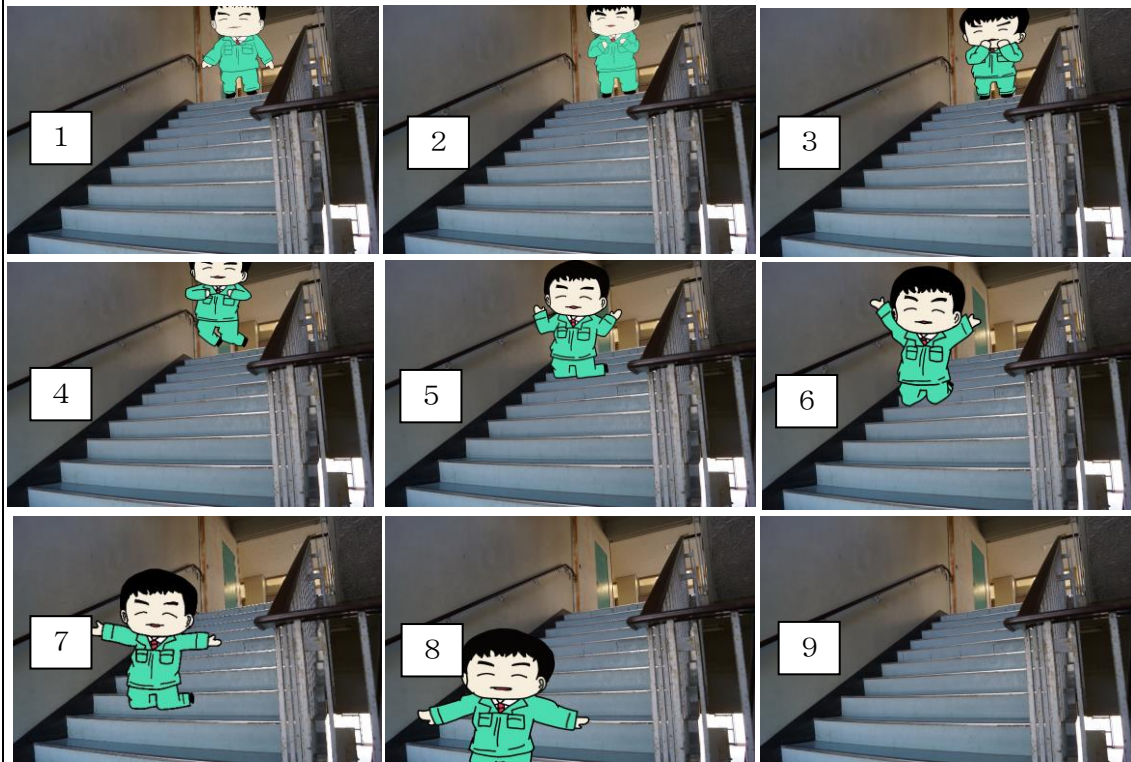


（左）元の写真 （右）空の色を鮮やかにし、虹を作成

- ② 合成用写真（加工済みを含む）とミニキャラクターのイラストを合成・加工

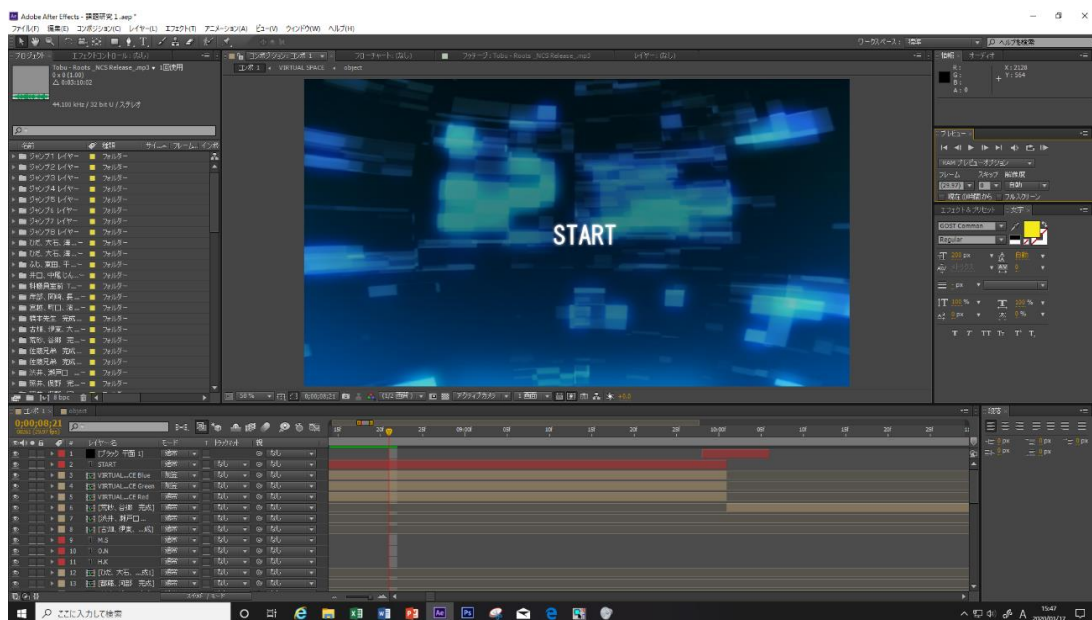


- ③ 次に動きのあるキャラクターの作成をする．ここでは，階段からジャンプするキャラクターをつくる



動きがより自然になるように，パラパラ漫画と同じ原理で細かい動きに分けて描く
この1から9の画像をつなげて流すことにより動いて見える

- ④ After Effects を使用し，画像をつなぎ合わせて1本の動画にする



- ⑤ word で課題研究発表原稿を作成
⑥ Power Point で発表用スライドを作成

5. 感想

今回、初めて After Effects と photoshop を使用して、新たな知識が増えました。最初ソフトを立ち上げた時は、まず自分たちが何をしなければいけないのか、何すべきなのか全くわからないまま手探りで作っていました。自分たちで1から動画を作るという目標の実現には様々な壁がありました。

基礎の習得、設定の変更オープニング動画の制作、他のソフトで作ったものの挿入方法、音楽の編集など他にもたくさんつまずきました。

所々妥協せざるを得ない部分もありましたが、自分達のぶつかった壁のほとんどは乗り越えることができました。成長できたのを実感できた良い課題研究になりました。

アニメーションが好きで入学した頃からアニメーション制作に触れてみたいと思っていました。

授業では使用していないソフトや機器を使用して取り組むには、まず基礎から学ぶ必要がありなかなか先に進めません。特に After Effects は使い方が難しく、オープニングを制作することにとっても時間がかかりました。新しい物に触れ、新しい知識を身に着けたことで成長できたと思います。自分の力で進めていくことは大変でしたが、とてもやりがいを感じることができました。

6. 参考文献

- [1] 楠田諭史,「Photoshop レタッチ・加工 アイデア図鑑」,SB クリエイティブ株式会社, 2017 年
- [2] 動画素材 | After Effects Style | After Effects を楽しむチュートリアルサイト (URL: <https://ae-style.net/materials/>)